

第六葛西小学校応援団実践報告書

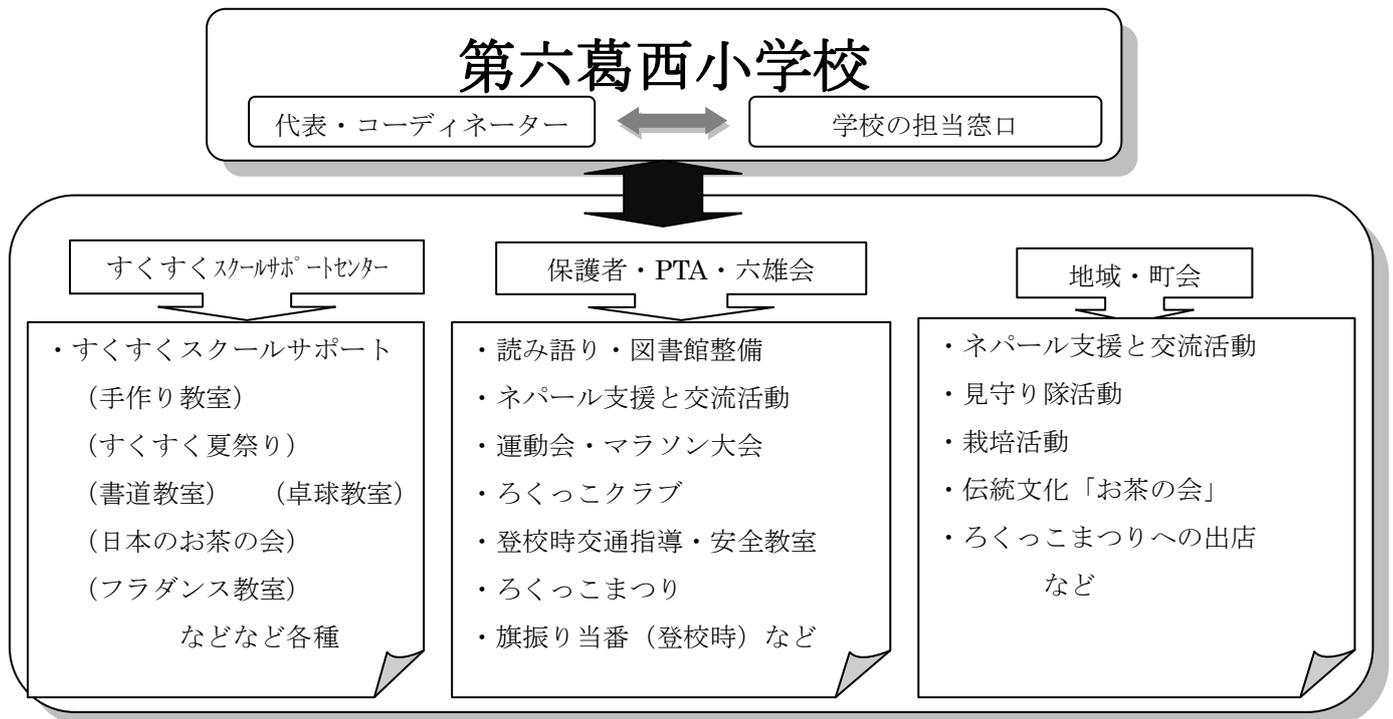
1 校長及び代表氏名

第六葛西小学校長 向田 弘司
 代表 関口 光治

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	旗振り 朝の交通見守り 安全教室 学校行事の支援	○登校時の安全を見守る。 ○通学路で登校の安全を見守る。 ○自転車教室や交通安全活道等でのお手伝い。 ○運動会やマラソンコースの安全確保
学習活動	栽培活動応援団 日本の伝統文化「お茶」	○さつまいも、ひょうたん、稲の栽培。 ○4・6年が茶道体験。
ろくっこクラブ	ろくっこクラブ	○新1年生の歓迎（4月）○校庭で遊ぼう（6月） ○サマーキャンプ（7月） ○プールで釣り堀大会（9月） ○ろくっこまつり（11月） ○焼き芋大会（12月）○餅つき大会（1月） ○室内で遊ぼう（2月）
ネパール姉妹校交流	ネパール姉妹校委員会	○ネパールへの支援と交流
読書活動	読み聞かせ 図書室整備	○学級に入って本の読み聞かせをする。 ○本の修理や本の整頓を行う。

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- 1、学校に様々な方々の応援をいただけることでそれぞれの活動が活性化された。
- 2、安全に関しては、佐川急便さんと協力しての授業内での「安全教室」への保護者の応援がたくさんされることで従来以上に幅の広い活動が展開できた。また、ろくっこまつりでの「佐川の安全教室」が恒例のものとなり、参加者も多くなっている。交通安全意識の高揚につながっている。
- 3、栽培活動では、応援団のおかげで作物が豊作となった。「お茶の会」では茶道を通じて日本の伝統文化への理解が深まっている。
- 4、ろくっこクラブでは、お父さんやお母さんの活動姿を見たり、他の保護者と子供たちが接したりすることで「学校が楽しい」と子供たちの学校への所属意識が高まっている。
- 5、読書活動を展開していただくことで、子供たちが「本が好きになった」、「本を読みたい」という意識の向上があり、読書への関心が一層高まった。
- 6、「ネパール記念日」を中心としたネパールを知る活動が全校で展開され、他の民族の文化への関心だけでなく、自国の文化への関心も高まっている。

<課題>

- 1、保護者の関わりが多い応援団は、子供たちが卒業をすることで、人的な確保をどのように進めるかが常に課題である
- 2、様々な応援団の活動を実施しているが、活動にあった人材・団体確保が課題である。

5 代表より

地域・保護者の多くの方々から応援団にご協力をいただき、活動を展開させていただきました。さまざまな体験を積んだ子供たちの一人一人の顔が輝いています。家庭や学校だけでは体験できないことが応援団の皆さんのご努力・ご尽力により体験できることは嬉しい限りです。同時に子供の時の快感体験は成長しても忘れることのない思い出になり、次の世代に引き継いでいこうとする力になると考えます。

学校の活性化とともに地域の活性化にもつながる「応援団の活動」をいっそう広げていくために、代表としてさらに活動を推進したいと考えています。

6 学校長より

「楽しい学校・明るい学校・元気な学校」、そこには子供たちの輝く顔があり、旺盛な意欲があります。「応援団」の方々による新たな体験は、子供たちの学ぶ意欲を高めます。まさに「生きる力」を育んでくれる活動でもあります。

保護者・地域の方による「応援団」は、子供たち全体の「保護者や地域」の気持ちを生み出してくれます。「うちの地域の子供たち」の意識は、地域安全にもつながります。「応援したくなる学校づくり」のために私たち教職員は全力を尽くします。引き続き「学校応援団」の方々のご協力をお願いするとともに、新しい「応援団」づくりのために代表と力を合わせて取り組んでまいります。